

平成27年度 全国学力・学習状況調査の瑞穂町の結果、分析及び方策等をお知らせします

I 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果（国語・算数、数学、理科）について

1 結果内容

小学校6年生及び中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が平成27年4月に行われ、その結果が公表されました。この調査は、児童・生徒の学力や学習状況の把握・分析を通して、教育委員会の取組の成果や課題の検証、改善を図るとともに、学校における教育指導の改善・充実に役立てることを目的としています。なお、平成27年度から「理科」が調査に加われました。

平成27年度全国学習状況調査の結果（平均正答率）と平成26年度の結果（平均正答率）との比較及び町と国の平均正答率の差（％）

<小学校 第6学年>

	国語(主として知識)				国語(主として活用)				算数(主として知識)				算数(主として活用)				理科			
	全国	都	町	国との差	全国	都	町	国との差	全国	都	町	国との差	全国	都	町	国との差	全国	都	町	国との差
26年度	72.9	75.5	68.6	-4.3	55.5	57.2	49.2	-6.3	78.1	79.4	74.6	-3.5	58.2	61.2	53.1	-5.1	-	-	-	-
27年度	70.0	72.3	62.6	-7.4	65.4	66.5	55.7	-9.7	75.2	77.4	69.8	-5.4	45.0	47.8	35.7	-9.3	60.8	62.4	54.5	-6.3

<中学校 第3学年>

	国語(主として知識)				国語(主として活用)				数学(主として知識)				数学(主として活用)				理科			
	全国	都	町	国との差	全国	都	町	国との差	全国	都	町	国との差	全国	都	町	国との差	全国	都	町	国との差
26年度	79.4	80.7	74.5	-4.9	51.0	53.2	41.8	-9.2	67.4	68.8	56.3	-11.1	59.8	61.8	46.8	-13.0	-	-	-	-
27年度	75.8	77.2	67.5	-8.3	65.8	67.0	57.4	-8.4	64.4	66.3	53.2	-11.2	41.6	44.0	31.3	-10.3	53.0	52.5	41.0	-12.0

2 分析

- 国語、算数・数学、理科ともに、国や都と比較すると平均正答率を下回る結果となっています。しかし、少しずつではありますが、国との平均正答率との差が縮まってきています。
- 裏面に示す「児童・生徒質問紙の結果」から、瑞穂町の児童・生徒の家庭等での学習時間が国や都と比較すると大きく差があり、学習時間が少ないことも学習内容の定着や学力の向上と大きく影響していることが分かります。

3 調査結果を受けての方策

- 各学校と町教育委員会が連携し、小学校の段階から個に応じた指導や、算数・数学において小学校第3学年から習熟度別少人数指導を充実させ、基礎・基本の確実な定着を図るための取組を強化するとともに、児童・生徒が身に付けた力を日常生活にも活用することができるよう、考えたことを進んで相手に伝える活動や書く活動などの言語活動を充実させます。そのための授業改善を推し進めるとともに、教員研修の充実を図ります。
- 町教育委員会は、すでに、学習サポーター制度や小学校の補習教室「瑞穂町ステップアップ教室」や、平成27年度からスタートさせた町内の学習塾と連携した中学校補習教室「瑞穂町フューチャースクール」の実施など、学校支援を積極的に行っています。

また、平成28年度は、小学校第6学年の児童を対象に、町内にある学習塾と連携した、**放課後補習教室「小学校版 瑞穂町フューチャースクール」**の開講を予定しています。児童・生徒のさらなる学力向上と学習意欲の喚起の取組を推進・充実させていきます。

## II 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果（児童・生徒質問紙調査）について

### 1 結果内容

小学校6年生及び中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学、理科）と同時に、児童・生徒の学習意欲や生活状況に関する質問紙調査も行われました。

### 平成27年度全国学習状況調査 質問紙調査の結果（瑞穂町において「課題となる項目」を取り上げています）

#### <小学校 第6学年>

(%)

質問事項	選択肢（抜粋）	町	全国	国との差	都	都との差
普段、1日あたりどのくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりしていますか	4時間以上、3時間～4時間より少ない	<b>52.0</b>	33.8	18.2	36.1	15.9
普段、1日あたりどのくらいの時間、テレビゲームをしますか	4時間以上、3時間～4時間より少ない	<b>27.8</b>	16.1	11.7	17.0	10.8
普段、1日あたりどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか	4時間以上、3時間～4時間より少ない	<b>10.1</b>	5.7	4.4	5.7	4.4
学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	3時間以上、2時間以上3時間より少ない	<b>16.5</b>	37.1	-20.6	25.7	-9.2
	1時間より少ない、全くしない	<b>31.2</b>	12.7	18.5	12.1	19.1
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか	3時間以上、2時間以上3時間より少ない	<b>5.0</b>	21.9	-16.9	11.9	-6.9
	1時間より少ない、全くしない	<b>69.1</b>	42.8	26.3	43.2	25.9
学校の授業以外に1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか	まったくしていない	<b>30.9</b>	17.5	13.4	19.9	11.1
家で、自分で計画を立てて勉強していますか	している・どちらかといえばしている	<b>49.0</b>	64.2	-15.2	62.8	-13.8
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	当てはまる・どちらかといえば当てはまる	<b>37.2</b>	48.1	-10.9	44.8	-7.6

#### <中学校 第3学年>

(%)

質問事項	選択肢（抜粋）	町	全国	国との差	都	都との差
普段、1日あたりどのくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりしていますか	4時間以上、3時間～4時間より少ない	<b>38.5</b>	30.5	8.0	29.7	8.8
普段、1日あたりどのくらいの時間、テレビゲームをしますか	4時間以上、3時間～4時間より少ない	<b>28.6</b>	20.5	8.1	21.2	7.4
普段、1日あたりどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか	4時間以上、3時間～4時間より少ない	<b>30.4</b>	18.2	12.2	20.2	10.2
学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	3時間以上、2時間以上3時間より少ない	<b>24.7</b>	35.7	-11.0	37.9	-13.2
	1時間より少ない、全くしない	<b>20.8</b>	13.9	6.9	15.1	5.7
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか	4時間以上、3時間～4時間より少ない	<b>8.1</b>	17.7	-9.6	18.9	-10.8
	1時間より少ない、全くしない	<b>49.8</b>	31.2	18.6	35.0	14.8
今住んでいる地域の行事に参加していますか	当てはまる・どちらかといえば当てはまる	<b>23.7</b>	44.8	-21.1	35.4	-11.7
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	当てはまる・どちらかといえば当てはまる	<b>27.5</b>	32.9	-5.4	35.4	-7.9

### 2 分析

- 本調査結果から、家庭での生活のリズムや人との関わり、学びの環境や家庭学習は、学力の定着と学ぶ意欲の向上に大きく関係していることが分かりました。例えば、就寝や起床の時刻が不安定な子どもは、学力調査の正答率が低く、朝食を毎日食べる子どもほど正答率が高くなる傾向があります。
- また、自分で計画を立てて家庭学習をすることや、家庭学習など学校以外の学習時間が長いほど正答率が高いことが分かりました。瑞穂町をみると、家庭等での平日の学習時間が「1日あたり1時間より少ない」が、全国や都と比較すると小学校では約20ポイントと高く、特に、土・日曜日等の休みの日の学習時間において、「1時間より少ない、全くしない」児童・生徒は、小学校で約7割、中学校で約5割となっています。
- 瑞穂町全体で取り組んでいる携帯電話・スマートフォンの時間を午後10時までとする「ストップ22」キャンペーンの効果は、きまりをつくる家庭が増えたことから、中学生において少し改善がみられます。しかし、いまだ携帯電話、スマートフォン、インターネットの利用時間やテレビの視聴時間は、国や都と比較するとかなり長く、このことが正答率や学習時間、生活習慣に大きな影響を及ぼしています。一方で、成績上位層の子どもたちは、これらの利用や視聴時間がとても少ない傾向にあります。
- 学力や学習意欲は、学校の取組と学校以外の子どもの取組が連動して高まることから、特に、上記表の色網掛け（黄色）の現状は、瑞穂町の大きな課題であり、家庭で早急な改善を図る必要があります。

### 3 ご家庭で取り組んでください

#### ○ 家庭で学習する時間をつくり、復習や予習などの学習を毎日させてください。

学年（中学校は7、8、9学年）×10分が学習時間の最低限の目安です。（例 5年生:50分以上、中学1年生:70分以上）

#### ○ 携帯電話、スマートフォン、ゲーム、テレビの利用、視聴時間のルールを決めてください。

瑞穂町では、「ストップ22」キャンペーンを推進しています。家庭でもお子さんと「利用のきまり」をしっかりつくり、利用以外は、「学習の時間」、「読書の時間」、「家庭での会話の時間」とするなど、お子さんの生涯にわたって学び続けるための「土台づくり」をお願いします。

町ぐるみで、瑞穂で育つ子どもたちの「学習する環境・雰囲気づくり」をすすめていきましょう！！